

喜界町

図書館だより

5月号



【通算 第275号】

2019（令和元）年5月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

＝ 入賞おめでとう！！ 読書マラソン表彰 100冊以上は81名 ＝

風薫るさわやかな季節となりました。図書館の周りでも草花が咲き誇り鳥たちのさえずりが聞こえてきます。

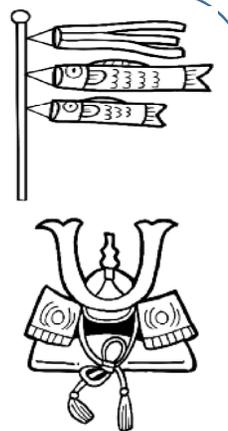
さて、平成30年度喜界町図書館主催の読書マラソンが3月31日で終了しました。その結果を受けて、100冊以上の多読者への表彰を4月10日から図書館来館時に随時行っています。今回の100冊以上の入賞者は、幼児17名、小学生21名、中・高生1名、一般42名の計81名でした。

「生活の中に図書館を！普段から楽しんで読書に親しんでほしい」という趣旨のもとで実施した読書マラソンは、登録者全員を対象として昨年4月1日から今年3月31日までの1年間の貸出冊数を集計した結果、幼児の最高多読者が381冊、小学生が862冊、中・高生が131冊、一般が787冊でした。また、図書館の総貸出冊数も55,926冊で年々増えていることから、町民の皆様の読書に対する興味関心が高まってきていると考えられます。今後も、町民の皆様の要望に応えられるよう図書館の充実を図っていきたく思いますので、多くの皆様のご利用をお願いいたします。

『端午（たんご）の節句』 ～兄と読む 一つ絵本や 端午の日～高田風人子

5月5日の端午の節句は、男の子の成長としあわせを願い祝う行事です。空に鯉のぼりを泳がせ、家の中には武者人形などを飾って、ちまきや柏もちなどをいただきます。1948年に「子どもの日」として定められ、「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかる」国民の祝日となりました。

また、喜界町誌によると端午の節句の昔の風習として「家屋や畜舎の軒の四隅、井戸等にもショウブとヨモギ（フツ）をさし、床の間、先祖棚、墓等にもショウブを活ける。ハサームツチーやヤチムツチーを作って先祖に供え、家族で食べ、近親者にも贈答した。夜は、ショウブ湯をたてた。ショウブやヨモギは悪鬼を払う力があると信じられている。」と記されています。



おしらせ



本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館へ連絡ください。

平成31（令和元）年度読書マラソン開始

期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

対象者：図書カードを持っている方全員参加とします。

【特典】

100、200と冊数が増えるごとに貸出冊数が1冊ずつ増えます。

100冊以上読んだ方・・・11冊

200冊以上読んだ方・・・12冊

300冊以上読んだ方・・・13冊借りられます



2019年 本屋大賞は、『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ 著 文藝春秋

◎本館にも所蔵しています。

2019年 本屋大賞ノット作品も図書館にあります。ぜひ、読んでみてください！（2位以下は次の通り）

- 『ひと』 小野寺史宜 著 祥伝社
- 『ベルリンは晴れているか』 深緑野分 著 筑摩書房
- 『熱帯』 森見登美彦 著 文藝春秋
- 『ある男』 平野啓一郎 著 文藝春秋
- 『さざなみのよる』 木皿泉 著 河出書房新社
- 『愛なき世界』 三浦しをん 著 中央公論新社
- 『ひとつむぎの手』 知念実希人 著 新潮社
- 『火のないところに煙は』 芦沢央 著 新潮社
- 『フーガはユーガ』 伊坂幸太郎 著 実業之日本社

新しく喜界島へ来られたみなさまへ！

喜界町図書館では、6万冊余りの蔵書を準備してみなさまをお待ちしていますので、どうぞお気軽にご来館ください。
※ 貸出期間は15日間でお一人様10冊まで借りることができます。また、仕事や旅行等で一時滞在の方も借りることができます。（その際は身分証が必要となります）